



正義が貫ける学校

昨日の全校朝礼で話した内容です。ぜひ、各家庭でも一度話し合ってみてください。

今日は、「規範意識」について考えてほしいと思います。「規範意識」とは、一人一人が物事を判断するとき、「何が正しくて、何が間違っているか」を決定する、皆さんの心にある「物さし」のことです。

数年前のことですが、次のような事件がありました。古本屋で、中学生が万引きをしました。店長がその生徒を捕まえて事情を尋ねると、その生徒は、〇〇中学校の生徒だと言いました。そこで、店長がその中学校に連絡を取ると、その中学校にその生徒はいませんでした。万引きした中学生が嘘をついたのです。店長は仕方なく、警察に連絡しました。やがて、警察が来て、中学生に事情を聞いていた時、中学生は逃げ出し、遮断機が下りている踏切に進入して、列車にはねられて死んでしまいました。

この事件は、マスコミに大きく報道されました。そして、「日本人の規範意識が問われる事件」へと発展するのです。その後、警察に通報した店長に対して、「たかが万引きぐらいで、何で警察に通報するのか、通報するから中学生が列車にはねられて死んだんだ」と抗議の電話が殺到して店長を苦しめました。店長は、耐えきれなくなり、仕方なく店を閉めることにしました。

この事件には、①万引きをした中学生、②それを見つけた店長、③連絡を受けて取り調べた警察官、④事件を報道したマスコミ関係者、⑤事件を知って店長に抗議の電話をした人、がいます。それぞれの人の規範意識について、皆さんはどのように感じますか？

私は、詫間中学校を「正義が貫ける学校」にしたいと思っています。どんなに力の弱い人でも、また、気の弱い人でも、正しい判断ができる人が堂々と発言でき、周りの人はそれを応援するような、正しい意見や考えが尊重される学校にしたいと願っています。

また、これに似たような事件が、今でも時々TVで放送されています。たとえば、次のような報道です。「昨夜、不審なバイクがいたので、パトカーが赤色灯をつけ、サイレンを鳴らしながら追跡しましたが、途中で見失ってしまいました。しかし、1キロほど離れた民家のブロック塀に衝突して、運転していたとみられる中学生が死亡しているのが発見されました。警察では、事故の原因を詳しく調べています。警察の発表では、追跡は適切に行われていたとのことです」。この報道も変だな、不思議だなと思いませんか？なぜ、このような報道の仕方をするのでしょうか？悪いことは悪いと言わなければなりません。悪いことは決してしてはいけません。

「したくても、してはならない」行動、「やりたくなくても、やらなければならない」行動があります。このようなときどうすればよいか、正しく判断するのが「規範意識」です。中学生になれば、自分が今からしようとしていること、今していることが「良いこと」か「悪いこと」か、分からない人はいないと思います。しっかり考えて、正しく判断し、正しい行動がとれる詫間中学生であってください。

また、裏面に2学期の「生徒による評価」の結果も載せています。このアンケート項目のほとんどが、「やらなければならない」行動です。「あたりまえ」にできなければならない行動です。「あたりまえ」が「ありえない」にならないように、残り2か月の学校生活を過ごしてください。

浦島デーに向けて

浦島デーに行われる「人権集会」に向けて、生徒会を中心に取り組みが進んでいます。各クラスの人権標語も決まりました。また、集会の最後に全員で歌う歌『あなたに』も、いい感じで仕上がりがつつあります。

昨日、全校朝礼後の歌唱練習で初めて聞きましたが、合唱コンクールで先生方が歌ったよりも、はるかに迫力がありました。まだ体育館の窓ガラスが震えるくらいまでとはいきませんが、もっともっと練習すれば、映画『うた魂♪』のラストシーンのような歌声になると思います。もしかしたら、スクリーンの中の感動を、実際に詫間中学校体育館で味わえるかもしれません。保護者の皆様も楽しみにしててください。

生徒による評価(2学期)

